

授業科目名	組織マネジメント論	担当教員	千賀 喜史
必修の区分	選択		
単位数	2 単位		
授業の方法	講義		
開講年次	3 年 第 1 クォーター		
講義内容	組織マネジメントとは、組織の目標達成を目的として、リソース（人材、資金、情報、設備など）を効率的かつ効果的に運用するプロセスを指します。これには、計画（Plan）、実行（Do）、評価（Check）、改善（Act）のPDCA サイクルが重要な役割を果たし、戦略策定、意思決定、リーダーシップ、組織構造の設計、モチベーション管理、リソース配分、業績評価などが含まれます。本講義では、組織マネジメントをご自身のキャリアと照らし合わせて学びます。キャリア形成のための自己分析も本講義では行います。		
到達目標	下記を到達目標として提示します。 ①組織マネジメントの基本概念の理解：組織の定義、目的、構造、および運営原則について説明できる。 ②チームとリーダーシップの理解：効果的なリーダーシップスタイルを識別し、チームのモチベーションを向上させる方法を説明できる。 ③ケーススタディを通じて、組織運営やマネジメントの実務的な課題を分析し、具体的な解決策を提示できる。		
授業計画	実例を使用し受講生が自ら考える主体的、能動的な授業をおこなう。少人数でロールプレイ式のグループワークをおこなう。各人が行政や企業、NPO、財団、市民代表などの役割を担い、意見を集約する方式で討議を深めていく。異なる役割を担うことで、立場の異なる組織の連携にどのように取り組めばよいか学んでいく。 1 回 キャリアを考える 2 回 社会化と組織文化 3 回 モチベーションとルールの関係 4 回 会社の中のキャリアマネジメント 5 回 キャリアアンカー 6 回 リーダーシップ 1 7 回 リーダーシップ 2 8 回 コンフリクト・マネジメント 9 回 組織再編 10 回 リスクマネジメントの実際 11 回 一般企業と起業と芸能界でのキャリア形成		

	<p>12 回 経営理念とビジネスシステム</p> <p>※講義内容は学生の進捗にあわせて内容を変更、調整する可能性があります。</p>
事前・事後 学習	当日配布するプリントを基本に予習復習を行うこと。
テキスト	稲葉 祐之（著），井上 達彦（著），鈴木 竜太（著），山下 勝（著）(2022)『キャリアで語る経営組織 ― 個人の論理と組織の論理 第 2 版』有斐閣アルマ
参考文献	プリントを配布します。
成績評価 の 基 準	<p>① 出席(30%)：出席は講義中の出欠確認での出席、講義後のリフレクションシートの提出、2 つの出席確認により出席と認定します。</p> <p>② グループ討議での貢献やクラス貢献度(20%)：積極的な発言をクラス貢献度とします。</p> <p>③ レポート(50%)：レポート提出の資格は、欠席 4 回までの方とします。</p>
履修上の注意 履修要件	・自己分析を授業中に行います。自己分析やキャリアについて考えることが苦手な方は受講をお控えください。
実践的教育	経営分野の実務経験を持つ教員が、その実務経験を生かして教授することから、実践的教育に該当する。
備考欄	<p>・授業中の食事は禁止します。飲み物は蓋のある飲み物のみ持ち込み可とします。</p> <p>・授業の遅刻や早退など出欠に関わる連絡は、クラスルームでの個人宛連絡及びメールアドレス宛に事前に連絡をお願いします。リフレクションシートでの上記連絡事項は無効とします。</p> <p>・リフレクションシートでの個人的なご質問やご要望は見逃す可能性がありますので、授業後及びオフィスアワーで受け付けます。</p>